

PDS-60ca 24V

DMXタイプ 12NC 910503700333
 Ethernetタイプ 12NC 910503700334

ユーザーガイド 取扱説明書

この度は PDS-60ca 24Vをお買い上げいただき、誠に有難うございます。このユーザーガイドでは PDS-60ca 24VのDMXタイプ・Ethernetタイプの安全な使用方法についての重要事項を説明しています。PDS-60ca 24VのDMXタイプ・Ethernetタイプを正しく安全にお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこのユーザーガイドをお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管してください。

箱には以下のものが入っています。

- ・ PDS-60ca 24V DMXタイプもしくはEthernetタイプ 1台
- ・ 配線口用キャップ 大4個 小4個
- ・ 一次側ケーブル保護ブッシング 1個
- ・ データケーブル保護ブッシング 3個

1. はじめに

PDS-60ca 24Vは、フィリップスのクロマエーシック搭載型ライト専用のパワー/データサブライです。ライトのコントロール方法に応じてDMXタイプ、Ethernetタイプがありますので必要なタイプをご使用ください。

注意

- ・ 本製品の設置は、専門の電気工事業者が行ってください。
- ・ 本製品は、-10℃～40℃の環境でお使いください。
- ・ 通気の良い場所に設置してください。周囲温度が40℃を超える環境や密閉される状態での使用は不具合の原因となります。
- ・ 製品の設置・取り付けは確実にを行い、過度な振動が加わるところでは使用しないでください。
- ・ 通電状態で器具の取替えを行わないでください。

2. 本体の設置

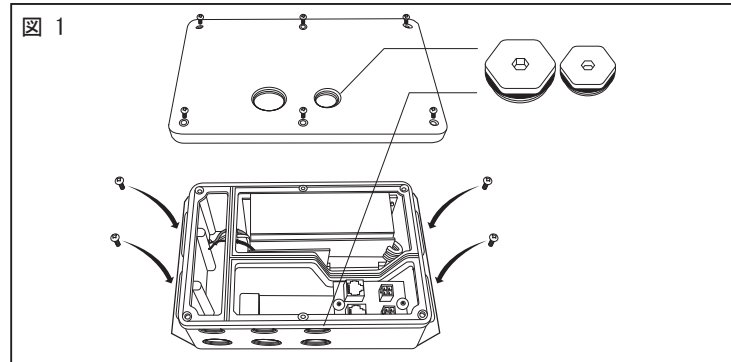
◆ 2-1 設置位置の決定

まず、設置場所を決めます。このとき、使用するライトの配線距離制限を念頭に置いて下さい。また本体の周囲には配線に必要なスペースおよび通気に必要なスペースを確保してください。

◆ 2-2 キャップの取り付け

本体とふたにある配線口のうち、必要な数の配線口を残し、使用しない配線口には付属のキャップをつけてください。

(図1参照)

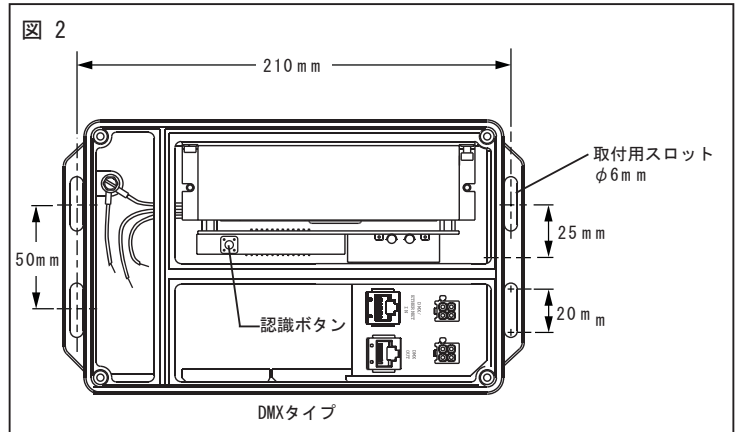


工事店様へ、工事が終わりましたらこの取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。お客様へ、この取扱説明書はお読みになった後も必ず大切に保管してください。

◆ 2-3 本体の固定

本体を平らな場所に設置します。設置面の材質に適切なビスで本体を固定して下さい。本体と取り付けスロットの寸法は図2のとおりです。

(図2参照)



3. 電源ケーブルの接続

注意

- ・ 入力電源に適した導線、また適切な接続の遮断方法をユーザー様にてご用意ください。
- ・ 電源は、最後に入れてください。

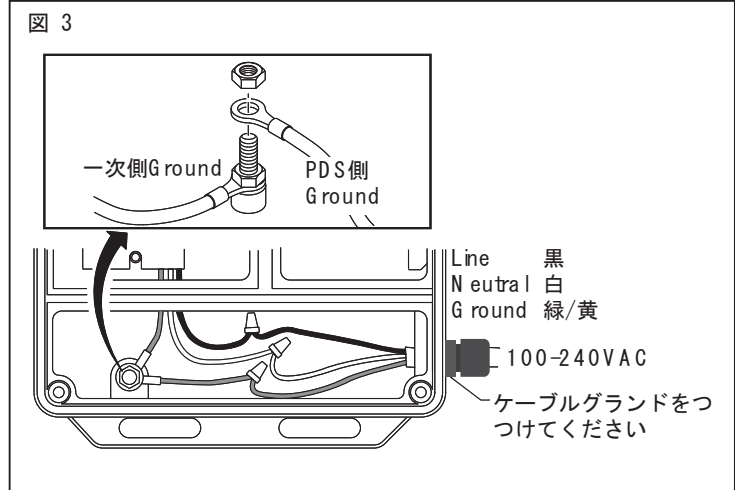
◆ 3-1 ケーブルの保護

ケーブル保護のため、本体側面の電源用配線口に付属の一次側ケーブル保護ブッシングを取り付けます。

◆ 3-2 電源の接続

電源ケーブルを通し、Line (黒)、Neutral (白)、Ground (緑/黄)、それぞれの線を圧着端子でしっかりと接続します。なお、最後にふたを閉めたときのケーブルの曲がりを考え、適切なケーブルを適切な長さにカットし使用してください。

(図3参照)



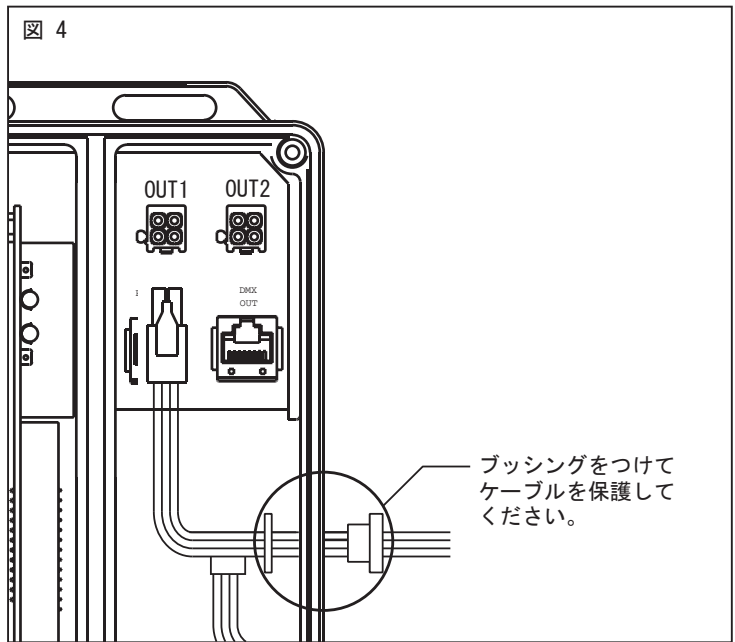
4. ライトの接続

注意

通電状態でライトを接続しないでください。

◆ 4-1 ケーブルの保護 (図4参照)

ケーブル保護のため、配線口に付属のブッシングなどを取り付けてください。設置後、ケーブルが引っ張られる恐れのある場合は、出力端子に過度のテンションがかからないよう適宜保護をしてください。



◆ 4-2 出力端子への接続 (図4参照)

使用するライトのリードケーブルのコネクターを出力端子に接続します。出力端子はOUT1、OUT2の2個ありますが、ライトの種類によってはOUT1しか使えない場合がありますので、必ず使用するライトの取扱説明書をご確認ください。

5. システム構成・設定について

5-1. DMXタイプを使用する場合 (図5参照) (DMXコントロールの場合)

60ca 24V DMXタイプは以下のようにDMXデータの接続を行います。

◆ 5-1-1 コントローラーとの接続

データの接続には、RJ45コネクター付きCAT5eデータケーブルを使用します。コントローラーからのデータケーブルを、本体側面またはふたの配線口から通し、RJ45コネクターをPDS-60ca 24VのDMX INポートにつないでください。

◆ 5-1-2 ケーブルの保護

配線口にはケーブル保護のため、適宜付属のブッシングをつけてください。また、コネクター部に過度のテンションがかからないようにしてください。

備考

DMXコントローラーへの電源供給には、別途コントローラー用のパワーサブライを用意してください。

◆ 5-1-3 データの送り配線

データを別のPDS-60ca 24Vに送り配線する場合は、送信側のPDS-

60ca 24VのDMX OUTポートと受信側のPDS-60ca 24VのDMX INポートをRJ45コネクター付きCAT5データケーブルでつないでください。データの終端となるPDS-60ca 24VのDMX OUTポートには、終端抵抗をつけてください。

◆ 5-1-4 アドレスについて (DMXコントロールの場合)

電源、ライトの接続を終えたら、ライトアドレスの設定を行います。PDS-60caに接続するライトはクロマエーシックを搭載しているため、それぞれのライトが自動的にアドレスを取得しますが、ライトを正しく作動させるには、PDS-60caの出力端子OUT1、OUT2それぞれに接続されているライト数をPDS-60caに認識させておく必要があります。電源、ライト、データの接続が終わりましたら通電後に必ずPDS-60ca本体内部の「認識ボタン」(図2参照)を押してください。

アドレスは、PDS-60ca 24V 1台を通じた連番となり、OUT1の先頭(PDS側)からOUT2の末端のライトに向かって、一連の個別アドレスが割り振られます。

※通常アドレス設定は出荷時のアドレス設定サポート(有償)をご利用ください。

5-2. Ethernetタイプを使用する場合 (図6参照) (イーサネットコントロールの場合)

PDS-60caは24V Ethernetタイプはフィリップス専用のイーサネットコントロールシステムLight System Manager(ライトシステムマネージャー/LSM)やVideoSystem Manager(ビデオシステムマネージャー)にも使用可能です。PDS-60ca 24V Ethernetタイプはイーサネットスイッチを経由してネットワークに接続します。

※システムの詳細についてはお問い合わせください。

◆ 5-2-1 データの接続

データの接続には、RJ45コネクター付きCAT5eデータケーブルを使用します。イーサネットスイッチからのデータケーブルを、本体側面またはふたの配線口から通し、PDS-60ca 24VのETHERNET INポートにRJ45コネクターをつないでください。

◆ 5-2-2 ケーブルの保護

配線口には、ケーブル保護のため適宜付属のブッシングをつけてください。また、コネクター部に過度のテンションがかからないようにしてください。

備考

イーサネットでは、コントローラー(LSM/VSM)からイーサネットスイッチを介して放射線状にPDS-60ca 24Vを接続する、スター型配線を行います。PDS-60ca 24V間でデータの送り配線はできません。必要に応じた台数のイーサネットスイッチを使用してください。

◆ 5-2-3 ネットワークの認識 (イーサネットコントロールの場合)

PDS-60ca 24Vの接続を終えたら、コントローラーのソフトウェア上でネットワークへの認識と、接続ライトのマッピングを行います。詳細はお問い合わせください。

6. ふたの取り付け

全ての配線を終えたら、最後に、付属のネジで本体にふたをしてください。このとき、ゴムパッキンのずれやケーブルの挟み込み、コネクターの押さえ付けがないことを確認してください。

参考: ネジの締め付けトルクは8~10in-lb (11.3N-cm)、4箇所とも均一な力で締めてください。

